

日本学術会議 統合生物学委員会行動生物学分科会（第25期第2回）

議事要旨

日時：2021年12月24日（金） 10:00～12:00

形式：Zoomによるビデオ会議

出席者：浅間，伊澤，巖佐，大坪，岡ノ谷，小野，粕谷，坂田，相馬，辻，飛龍，
明和，村山（五十音順，敬称略）

議題

(1) 行動生物学を取りまく最近の状況について

- マスタープランの見直しや，学術会議における意思の表出に関する改訂指針を受け，行動生物学分科会としてどのような活動をおこなっていくのが有効で適切か議論した．行動生物学の現状をふまえ，「報告」や「見解」といった意見発表だけでなく，社会・市民全体へのより効果的な波及効果を目指して「公開シンポジウム」を実施する方向で合意を得た．
- 近年際立つ社会問題を鑑み，人間の欺瞞あるいは公正性に関し，科学者および学术界が果たしうる役割について議論した．
- 上記2点に関して，学際的な理解や統合知創出の重要性について意見交換をおこなった．

(2) 当期の分科会の活動について

- (1)の議論をふまえ，生物を対象とした科学の再現性および人間の本性の両面を考察するための公開シンポジウムを企画することで合意した．
- 2021年3月21日にオンライン開催された公開シンポジウム「動物たちの意図共有」（主催：日本学術会議行動生物学分科会，共催：新学術領域「共創言語進化学」，日本動物行動学会，日本動物心理学会）について，概要報告がなされた．

(3) その他

特になし

以上．

（文責：相馬・明和）